

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	今後の河川利用のあり方を踏まえた新たな安全対策検討経費		<b>担当部局庁</b>	水管理・国土保全局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H23		<b>担当課室</b>	水政課		課長 山崎篤男		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	8 良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)</b>	近年水辺環境の保全・整備が着実に進展するのに伴い、国民による河川利用が増大しているところである。一方、河川における転落等の水難事故は後を絶たないことから、河川管理者と利用者の責任範囲を明確化することを通じて、河川管理を適正に実施し、安全な河川利用を確保することが不可欠である。このため、安全安心な河川利用の実現のため、学識経験者等を交えて検討を進め、河川利用の安全対策に関する体系的な枠組みを構築することを目的として本事業を実施することとする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	22年度は、学識経験者で構成する「河川の自由使用等に係る安全対策に関する検討会」を設置し、河川管理者及び河川利用者等の安全対策に関するアンケート調査、河川等における転落事故等に関する訴訟の判例の収集、整理を行い、各々の調査結果を踏まえ上記検討会において安全対策の検討を行った。更に23年度は、当該調査及び検討の結果も踏まえつつ、河川管理における予算・人員の制約を前提とした効率的な組織マネジメントのあり方等を検討する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	12	7	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	12	7	-	
	執行額	-	-	8	-	-		
執行率(%)	-	-	66%	-	-			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	40 水辺の再生の割合(河川)	成果実績	%	-	-	-	40%	
		達成度	%	-	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	河川管理における予算・人員の制約を前提とした効率的な組織マネジメントのあり方の整理	活動実績 (当初見込み)	一式	-	-	-	-	
				-	-	(62%)	(100%)	
<b>単位当たり コスト</b>	19,456(千円/一式)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>逐次、打合せ及び電話連絡等により、業務の進捗状況の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行った。また、契約時に、業務の主たる部分に係る再委託は禁止しており、結果、再委託はしていない。 今後においても調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止⑧		河川利用者等へのアンケート調査、河川等における転落事故等に関する訴訟の判例の収集を行った上で、河川管理における予算・人員の制約を前提とした新たな安全対策の検討が進み、本事業の内容は概ね終了、一定の成果が見込まれることから、廃止する。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国土交通省  
8百万円

諸謝金  
0.6百万円

職員旅費  
0.04百万円

委員等旅費  
0.5百万円

業務発注、全体管理、学識  
経験者による検討会運営、  
マニュアル作成等

【総合評価方式一般競争入札】

A. (株)建設技術研究所  
5.8百万円

全国650箇所における河川管理  
者等への安全対策に関する意  
識調査等、30箇所における河川  
利用者等へのアンケート調査等

【一般競争入札】

B. (株)建設技術研究所  
1百万円

河川等における転落事故等に  
関する過去35年程度の訴訟の  
判決の収集、整理

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)建設技術研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	全国650箇所における河川管理者等への安全対策に関する意識調査等、30箇所における河川利用者等へのアンケート調査等	5.8			
計		5.8	計		0
B.(株)建設技術研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	河川等における転落事故等に関する過去35年程度の訴訟の判決の収集、整理	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	全国650箇所における河川管理者等への安全対策に関する意識調査等、30箇所における河川利用者等へのアンケート調査等	5.8	3	96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	河川等における転落事故等に関する過去35年程度の訴訟の判決の収集、整理	1	2	36%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					